

目 次

CONTENTS

はじめに
第四版によせて

I 保育所実習の概要

- ① 保育実習・保育所実習とは？ 2
- ② 保育所実習の意義・目的 4
- ③ 実習生の心構え 6
- ④ 実習の流れ 10
- ⑤ 実習から何を学ぶか 12
 - コラム 1 正しい言葉で話しましょう 15
- ⑥ 実習園が決まったら 16
- ⑦ オリエンテーションについて 18
 - 先輩の感想から①…22

II 実習の準備

- ⑧ 実習に必要な書類 24
- ⑨ 服装と身だしなみ 30
- ⑩ 持ち物 32
- ⑪ 実習園が実習生に期待すること 34
- ⑫ 園の1日の流れ（デイリープログラム） 38

III 実 習

- ⑬ 観察実習のポイント 40
 - コラム 2 実習生の“偏食” 43
- ⑭ 実習中の注意事項 44

15 部分実習のポイント	46
16 責任実習のポイント、指導計画案の立て方は？	52
17 実習日誌の書き方	66
18 こんなときどうする	102
19 手遊びについて	105
20 絵本の選び方	113

IV 実習の後で

21 実習反省会について	116
22 実習園へ実習日誌を提出するときの留意点	118
先輩の感想から②...119	
23 お礼状の書き方	120
24 実習の経験をどう活かすか？	122
コラム3 無断で実習を中断した実習生 126	

引用・参考文献	127
先輩の感想から③...128	

巻末資料：(新) 保育所保育指針	129
(旧) 保育所保育指針	141
索引	167



〇〇〇〇 短期大学		実習生氏名		吉田 綾	
第5日目 H〇年〇月〇日(〇曜日) 天気くもり 時々晴	組・人数	(3歳児)	男 8名・女 9名	計 17名	
		りす 組			
		欠席 2名 ()			
今日の目標		・一日の流れを知る。			
時 分	子どもの活動(生活の流れ)	保育者の動き・保育の配慮	実習生の動き	環境・準備他	
8 30	(順次登園) ・朝の挨拶をする。 ・視診を受ける。 ・お帳面に印を押す。 ・朝の支度をする。 (室内遊び) ・おり紙 ・こままわし	・保護者と子どもに朝の挨拶をする。 ・一日の期待がふくらむように「今日はお散歩だよ」と言葉かけをする。 ・朝の支度をするように声をかけ、自分でできない子の手助けをする。 ・保護者から昨日や今朝の様子を聞き視診をする。 ・今日はお散歩へ行くので、体力を使うことを考え、室内遊びとしており紙を提供する。	・保護者と子どもに朝の挨拶をする。 ・りす組の名簿をもらい、名前と顔を覚えさせるようにする。 ・おり紙、こま遊びを、子どもと一緒に楽しむ。	・暖房を入れ、窓を閉める。(ドア)	
9 30	(お散歩へ行く準備をする) ・トイレへ行く。 ・カラー帽子をかぶり、水筒を持つ。 ・上着を着る。 ・ござの上に座る。 ・保育士の話を聞く。	・トイレへ行くよう声を掛ける。 ・上着を着せ、カラー帽子をかぶり、水筒を持つように言葉かけをする。 ・交通のルール、お友達と手をつなぐことを確認する。	・カラー帽子をかぶり、水筒を持つように声掛けをする。 ・ござの上に座るよう声を掛ける。		
9 50	(お散歩へ行く) ・くもの果など自然の中での発見をする。 先生と ・追いつけっこ・置いてある物にのぼって遊ぶ。・くまさん ・休憩で水分補給をする。 ・トイレへ行く。 ・友達と手をつないで歩き保育園へ戻る。 ・児童館のすべり台をする。 ・保育園の皆に「たのい」と挨拶をする。 ・保育室へ戻る。(給食) ・手洗いうがいをし、エプロンをして席に着く。 ・トイレへ行く。	・危険のないよう配慮する。 ・車が通る時、横断する時はささした確認した事をもう一度呼びかけ、十分注意する。 ・先生が見える所で遊ばせ、行ってよい範囲を教える。 ・休憩をさせ、トイレへ行くよう言葉かけをする。 ・全員そろっていることを確認する。 ・帰りは、疲れもあり集中力なくなるので安全に歩けるようさらに注意深く見る。 ・児童館のすべり台すべりに行くことと声を掛け、歩く意欲が持てるようにする。 ・トイレへ行き手洗いうがいをし着席するよう声掛けをする。	・子どもと手をつなぎ、危険のないよう配慮する。 ・色々な所へ登っている子どもたちに危険がないよう見る。 ・子どもの手を取り帰る。	薬を必ず持っていく。	
11 10	(給食) ・手洗いうがいをし、エプロンをして席に着く。 ・トイレへ行く。	・トイレへ行き手洗いうがいをし着席するよう声掛けをする。 ・給食の準備をする。 ・色々なテーブルをまわり、子どもの様子を見る。 ・楽しい雰囲気の中で食べられるようにする。	・給食の準備をする。 ・楽しく食事ができるように色々な話題を提供する。		
11 30	食事をする。	・食事のマナーを教える。			

(次頁に続く)

12	05	・片づけを楽しみながらすすんで手伝いをする。 (室内遊び) ・ブロック ・おり紙 ・保育士のしていることに興味を持つ。 (外遊び) ・プランコ・ままごと・鉄棒 ・三輪車遊び・すべり台	・“お手伝い”をしたがる子どもにはできることをお願いする。 ・食事の片づけをする。 ・午前中散歩に行ったので、疲れてしまわないよう最初は室内での遊びを提供する。 ・子どもの興味が出て、その創作に期待が持てるように、子どもの前でおひな様作りの準備をする。 ・保育室に熱を出した子がいるので、外と室内の様子を見る。 ・子どもの代弁をして喧嘩の仲裁をする。 ・鉄棒では危険のないよう十分注意をする。 ・おやつ時間になることを知らせ、片づけをし、お部屋へ戻るよう声掛けをする。 ・おやつ準備をする。 ・おやつに関するクイズを出し、知識を広げていく。 ・リズムに合わせて歌をうたいながら、楽しくゴミ捨てができるようにする。 ・おやつの後片づけをする。 ・トイレへ誘う。 ・帰りの支度の手助けをする。 ・支度をせずに遊んでいる子に今やるべきことを伝える。	・片づけをする ・おり紙 (くわがた・ペンギン・カメラ・やしろべえ) ・ままごとをする。 ・喧嘩の仲裁をする。 ・室内の様子もみるようにする。 ・部屋へ戻るよう声を掛ける ・おやつ準備をする ・楽しく食事ができるように配慮する。 ・帰りの支度の手伝いをする。	・おり紙の本を用意する。
14	30	・保育室へ戻る ・手洗いうがい、エプロンを付け席に着く。 ・クイズに答える。 ・食べ終わった子から自由遊びをする。(室内) ・こま・ままごと・ブロック	・おやつ時間になることを知らせ、片づけをし、お部屋へ戻るよう声掛けをする。 ・おやつ準備をする。 ・おやつに関するクイズを出し、知識を広げていく。 ・リズムに合わせて歌をうたいながら、楽しくゴミ捨てができるようにする。 ・おやつの後片づけをする。 ・トイレへ誘う。 ・帰りの支度の手助けをする。 ・支度をせずに遊んでいる子に今やるべきことを伝える。	・部屋へ戻るよう声を掛ける ・おやつ準備をする ・楽しく食事ができるように配慮する。 ・帰りの支度の手伝いをする。	
15	20	・トイレへ行く ・帰りの支度をする。	・トイレへ誘う。 ・帰りの支度の手助けをする。 ・支度をせずに遊んでいる子に今やるべきことを伝える。	・帰りの支度の手伝いをする。	

(次頁へ続く)

今日一日をふり返って (実習中に学んだこと、感じたこと、反省すること等を記入する)

お散歩は前期にこあら組と一緒にに行かせていただいたのを含め、2回目の体験でした。立ち止まったり、道草くったりというのが多く大変でしたが、この散歩で色々な事を学びました。鬼ごっこでは、“先生に追いかける”というのが楽しいらしく“先生と子ども”という特徴も見られました。先生に見てもらいたいと強く思う頃のように、一度に“こっちは”“これやる”と言われ大変でした。子ども一人一人の要求をし、かり受けとめていけるようになっていたなと思いました。未満児とは違い、積極的に初対面でも寄ってきてくれて助けられた部分もありました。リサ組さんとも仲良くなれて嬉しかったです。本日は、御指導いただき、ありがとうございました。

指導者所見欄

園外に出ることで危険を多く手と離れたいという、行動の傾向、車やバイクの通る場所など十分に注意を促す必要があります。子どもは車に乗りたいという、自分の手を動かして歩く、手を指の約束は必ず確認して安全ルールを守る大切さを感じてほしいと思います。楽しい散歩は、お散歩の約束を守ることが大切です。子どもの要求については、以前に比べて、少し待つことができています。また、自分の主張が強い子ども、おとなしくして声を出さずとも、自分の要求に答えるようにしています。ひとりひとりの発達に合わせ、その子の様子を見て、自分で出来るようにサポートをします。園外は、危険やルールが厳格にありますが、お散歩は、子どもが自ら進んで進んでいくことが、次の意欲につながると考えています。

印

りす組(3歳児)		吉田 綾	
		・カー椅子に座る。 ・今日ははるくんの誕生日なので、みんなで祝う。 (はるくんは前へ出て、台の上に立つ)	・はるくんに、好きな食べ物名前、嫌いな食べ物を聞き、大きくなったことを皆も喜んでいるということが伝わるように言をかけていく。 ・「綾先生が紙芝居読んでくれるよ」と期待を持たせるようにする。
15	45	・紙芝居を見る。 - 題名「ポンタとコスモスのうんどうかい」 ・「さようなら」の挨拶をする。 (順次降園) ・保護者の迎えを待つ子は絵本を読む。	- 紙芝居を読む。 ・保護者と子どもに「さようなら」の挨拶をする。 ・保護者に一日の様子を伝える。 ・部屋の片づけをする。
16	25	(延長保育) - 室内遊び ・ブロック 絵本、ままごと ・手を洗い席につく ・食事をする	・延長の保育士に、一日の様子や、保護者への連絡事項を伝える。 ・おやつ準備をする。 ・絵本を読む。 ・部屋を片づける
17	00		・実習終了

※子どもの活動・保護者の動き・実習生の動きの関係が、簡潔な表現でよくわかる記述ができています。
保育者の姿から学んだことが「今日一日をふり返って」に記述されるとさらによいでしょう。